

# 平成29年度採択 セルロース系繊維を用いた飼料用ラップネットの利用技術の開発 松山毛織株式会社（愛知県） 主たる技術：機械制御

- ・セルロース系繊維（木綿）を用いて、牛に無害かつ防カビ効果を持つラップネットの研究開発を実施した。
- ・研究成果のラップネットは、牛が誤食しても影響がなく、屋外でもカビが発生せず、使用後は堆肥に混ぜることができ、廃棄の手間及び処分費用を低減することが可能なネットである。

## 研究開発の成果

### ■ 巻取機的设计・開発

- ・巻き取り機的设计開発：試作機は完成し、開発に成功した
- ・ラップネットの試作：軽量化に課題が残るが、試作は成功した
- ・ラップネットの現地実証実験：概ね農家から高い評価を得た

### ■ 牛に無害な防カビ対策

- ・金属イオン等を用いた防カビ研究：金属は酸化することで効果がなくなること、香辛料・アロマ成分が有用であることを確認した
- ・防カビ対策 現地実証実験：特定成分を含む防カビ剤を施したラップネットで最大3ヶ月弱防カビ効果が持続することを確認した

### ■ 牛がネットの一部を食することによる影響研究

- ・胃内でラップネットは消化されるが、時間が掛かることを確認した
- ・従来製品よりもリスクは低いが、取り除くことが望ましい



## 研究体制

事業管理機関：（公財）一宮地場産業ファッションデザインセンター

松山毛織株式会社 / KBツツキ株式会社 / 株式会社大和川染工所  
国立大学法人豊橋技術科学大学 / 広島県立総合技術研究所

## 当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：松山毛織(株) 田中利明  
E-mail <tanaka22@matsuyamak.com>  
電話番号：0586-86-2000